C大腸がん44

対象疾患	大腸がん	レジメン名	Ram+CAP+CPT-11療法（Ram+CAPIRI療法）
1コースの期間（休薬期間含む）		21日	
総コース数	制限なし		

Rp.	薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	カペシタビン（CAP）	※備考欄参照	経口		day 1~14
2	生食100 mL（ルートキープ用）	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
3	ジフェンヒドラミン10 mg	5 T	経口		day 1
4	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
5	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3（Max day 2~4）
6	ラムシルマブ（Ram）	8 mg/kg	点滴静注	60分 ※備考欄参照	day 1
	生食250 mL	1 P ※備考欄参照			
7	生食50 mL（フラッシュ用）	1 P	点滴静注	全開	day 1
8	イリノテカン（CPT-11）	200 mg/m^2	点滴静注	90分	day 1
	生食250 mL	1 P			
9	生食50 mL（フラッシュ用）	1 P	点滴静注	全開	day 1

血管外漏出リスク分類	Ram: 非炎症性　CPT-11：炎症性
催吐性リスク分類	レジメン全体：中等度（CAP：軽度　Ram: 最小度　CPT-11：中等度）
インラインフィルターの要不要	Ram投与のため、0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを使用
備考欄	※Ramは、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量250 mLとなるように希釈する。 ※ジフェンヒドラミンは、Ram投与前に内服する。 ※Ramの2回目以降は、初回時に忍容性が良好であれば投与時間を30分まで短縮可能である。 ※CAP投与量は以下の通りである（いずれも1日2回朝夕食後の分2投与）（E法）。 BSA<1.31 m^2: 1800 mg/day、1.31≦BSA<1.69 m^2: 2400 mg/day、 1.69≦BSA<2.07 m^2: 3000 mg/day、2.07 m^2≦BSA: 3600 mg/day